

第三回安全懇話会 開催のご案内

「気づき」を育てる安全教育

ー ノンテクニカルスキルを活かしたヒューマンエラー防止へのアプローチ ー

主催：南川行動特性研究所

日時：2027年1月28日（水）15：00～16：40

開催方法：Zoom

参加費：無料

プログラム：14：40 開場開始 14：55 までに入室よろしくお願いします。

15：00 講演開始

話題提供 60分 休憩 10分の間に Zoom の Chat に質問・意見を記載

質疑応答と意見交換 30分（口頭質問も OK）

話題提供：中央労働災害防止協会 東京安全衛生教育センター 講師の井上哲夫氏

■ 今回の講演概要

労働災害の防止に向けて、各企業では安全に関する知識や技能の習得を目的としたさまざまな安全教育が実施されています。しかし、安全に関する知識や技能を十分に持っていても、思い込みや判断の誤り、コミュニケーションの行き違いなどによって労働災害が発生することがあります。

こうしたヒューマンエラーの防止には、状況認識、意思決定、コミュニケーション、チームワークなどの「ノンテクニカルスキル」が重要であるとされています。しかし、その重要性は理解できても、企業の限られた教育時間の中で、従来の安全教育に加えて新たな教育を実施することは容易ではありません。

本講演では、従来の安全教育にノンテクニカルスキルの視点を取り入れ、受講者自身の「気づき」を促す3つの教育事例を紹介します。

一つ目は、新入社員などを対象とした危険感受性の向上を目的として、自分の性格や行動傾向を振り返り、日常の何気ない判断や行動の中に潜む危険要因に気づかせ、その対策についての教育です。

二つ目は、アサーションの向上を目的として、チームの中での自分の存在意義や役割を認識し、安全を守るために自分の意見を伝えることの大切さに気づかせる教育です。そしてリーダーはチーム内での心理的安全を確保することが、指示待ちの部下を積極的に安全活動へ参加させることにつながることを理解させます。

三つ目は、ベテラン職長などを対象としたコミュニケーション能力の向上を目的として、「伝えたつもり」が必ずしも「伝わった」ことにはならないという、言葉による指示や情報伝達の弱点を体験的に理解させ、ひと手間かけた指示の重要性に気付かせる教育です。

これらの事例を通じて、ヒューマンエラーは単なる知識不足や不注意だけでなく、自分自身の思考や行動の特性、他者との関わり方の中にも、その引き金となる要因が潜んでいることを考えます。そして、安全に関する知識や技能を教えるだけでなく、自分自身の中に潜むヒューマンエラーの引き金に気づき、それを意識して行動できるようにする教育の重要性と、既存の安全教育への具体的な取り入れ方について考えます。

■参加をお勧めしたい方

- ・安全マネジメントの担当者・責任者、経営者
- ・現場管理者、現場のリーダー層
- ・ヒューマンエラー防止に関心を持っておられる方

申込方法：この HP の「お申込みはこちら」ボタンをクリックして安全懇話会选择し、ご氏名など記入して送信ボタンを押してください。（電話・FAX・電子メールによるお申し込みはご遠慮ください）。

お申込みボタンでお申込みできない場合は下記にお申込みください。

お問い合わせ先：南川行動特性研究所の HP 上のお問い合わせボタンから入力

締切り：**1 月 21 日（木） 12 時 先着順**

募集人員： 100 人

受講 ZOOM の URL：1 月 21 日 PM に発信します。

お申込みになっていて受信できなかった場合はすぐに主催者にメールで連絡してください。

配布 PDF も同じ時刻に送付します。

受講受付：

1 月 28 日 14:40 から入室できます。14:55 までに入室をお願いします。

映像切りで入室し、入室後ミュートにして下さい。Zoom URL の転送により

お申込み者名簿にない方は入室できませんので、ご了承ください。

振り返りシート：電子振り返りシートが受講者に 1 月 28 日夕方に発信されるので、1 週間以内にご提出して下さるとありがたいです。